



第38回小牧市民まつり 小牧山会場

夢・チャレンジ げんき村



毎年20の市民活動団体が子どもを中心に幅広い年齢層が楽しめる体験ブースを出展しています。今年度は、雨天および台風接近のため10月22日(日)は中止となり、21日(土)のみの開催となりました。雨天にも関わらず、多くの子どもたちがさまざまな体験を楽しみました。出展団体のみなさま、お疲れ様でした。

出展団体(順不同) 日本スポーツ吹矢協会小牧フレッシュ支部、小牧ケアサービスまごころ、小牧市山野草の会、コープあいち小牧地域委員会、全建愛知小牧支部、兒の森活動グループ、青年の家サポーターズ、野遊び塾リトル・トリー、竹と炭工房(小牧竹とんぼの会)、愛知県ハンガリー友好協会、小牧防災リーダー会、小牧災害ボランティアネットの会、ここにプロジェクト、手作り工房、紙芝居どんぐり、小牧自然歴史の会、愛林会、つみきの会、新日本婦人の会小牧支部、フリーマーケットサークル・ガレージアヒル 以上20団体



Network Report

こまき市民活動ネットワーク理事研修に行ってきました

11月26日(日)長野県飯田市『おひさま発電』を見学しました。

エネルギーの地産地消を目的にNPO法人南信州おひさま進歩を設立され、当初は寄附で太陽光発電設備を設置していましたが、同法人を母体としたおひさま進歩エネルギー有限公司(現株式会社)を設立し、日本初の大規模な太陽光発電の市民投資として『南信州おひさまファンド』を開始し、飯田市内の公共施設に太陽光発電設備を設置しました。

「これには、公共施設の屋根を20年間無償で提供するなど、前例にとられない行政の決断や地域の金融機関との連携が大きい」と話されました。また、出資された方は、利回りを優先するのではなく、再生可能なエネルギーへの期待が大きいとのことでした。

さまざまな人や組織が連携したまちづくりについて学ぶ大変有意義な機会となりました。



協働診断事業経過報告

小牧市各課が行っている事業・業務について、協働の可能性を探るとともに、どのような協働相手があり、どのように協働事業として進めていけば良いのかまでサポートし、協働事業化を促進することを目的に、小牧市協働推進課、(特)ボランティアネイバーズとの協働で実施しています。

現在、診断対象事業のヒアリングを終え、協働事業化の可能性や効果性等が高いと考えられる業務を選定し、平成30年度の実施に向けて協働相手とのマッチング支援などを行っております。

